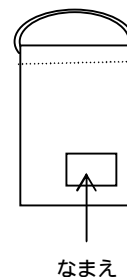


入所までに準備していただくもの

1. 給食用エプロン (0・1・2 歳児) <図 1>

- タオルを半分に切り、かぶれるようにゴムひもを通します。

<図 1>



2. 手拭きタオル (全員) <図 2>

- ハンドタオルにかけひもをつけます。

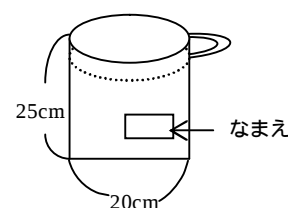
<図 2>



3. コップ袋 (全員) <図 3>

- 中に、コップ・竹箸(箸箱)・ハブラシを入れます。
- 出し入れしやすいよう、普通の布製がよいです。
(キルティングは不向きです。)

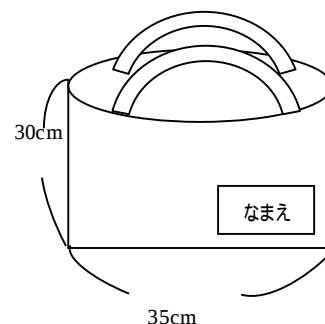
<図 3>



4. パジャマとパジャマ袋 (2・3・4・5 歳児) <図 4>

- パジャマ袋はパジャマや脱いだ服が全部入る大きさがが必要です。
- パジャマは季節に応じたもので、お子さんが自分で着脱しやすいものがよいです。
- 毎週金曜日に持ち帰り洗濯をしていただきます。
(月曜日に持ち出してください。)
- 2 歳児は秋頃から必要になりますので、担任が連絡をしたら準備してください。

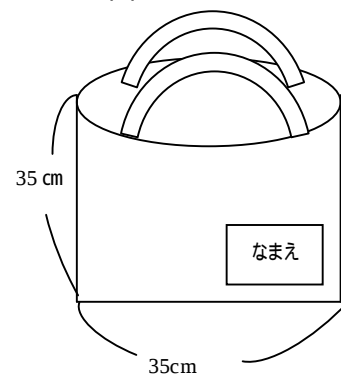
<図 4>



<図 5>

5. 着替え (全員) と着替え袋 (4・5 歳児) <図 5>

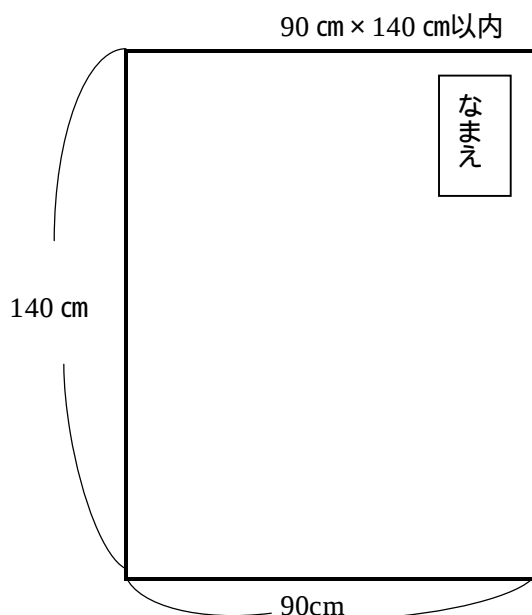
- 着替えはパンツ・下着シャツ・ズボン・トレーナーなどを年齢や必要に応じて数組準備してください。
- 着替え袋は 4・5 歳児が必要です。0・1・2・3 歳児は着替えを個人用ロッカーに収納しますので着替え袋はいりません。
- オムツ使用のお子さんは、1 日にオムツ 10 組・(カバー 3 枚程度) 準備してください。(洗い替えが必要です。)



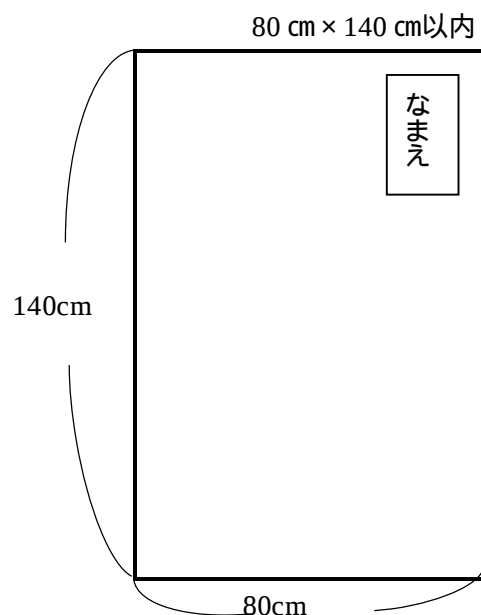
6．昼寝用布団（全員）

- 布団は市販の物を使用するか、または、大人用毛布を使用して作ります。掛け布団は二つ折りにして縫い合わせたもの、敷き布団は三つ折りにして縫い合わせたものを作ってください。
- 掛け布団・敷き布団とも揃いの袋カバーを作ってかぶせます。
- 中の布団が片寄らないようにしっかり綴じつけます。
- 袋カバーには名札用に別布(15 cm×20 cm)を縫い付けて記名します。
- おねしょシーツの必要なお子さんは準備してください。
- 夏期は掛け布団の代わりにタオルケットを使います。
- 毎月、最終金曜日に持ち帰り、カバーの洗濯をしていただきます。

< 掛け布団 >



< 敷き布団 >



8．通所用リュックサック（2・3・4・5 歳児）

- 2・3・4・5 歳児は通所用リュックサックを使用します。
- 0・1 歳児は大きめの手さげかばん(オムツ・着替えなどが入るもの)を準備してください。

9．ナイロンバック（2・3・4・5 歳児）

- 保育所で借りた絵本などを入れるのに使用します。いつでも使えるように通所用リュックサックの外ポケットにたたんで入れておきます。

10．カラー帽子（1・2・3・4・5 歳児）

- かけひもをつけます。
- 常時保育所において使用します。週末に持ち帰って洗い、翌月曜日は持ってきます。

11. お道具箱と用品 (3・4・5 歳児)

- お道具箱に、はさみ・のり・粘土・クレパス・なわとび(4・5 歳児)を入れます。
- 新しい粘土は固いので、こねて柔らかくしておかれるといいです。

12. 汚れ物入れ (全員)

- 水漏れしないビニールかナイロンのかばん、又は袋にはっきりと記名します。
- 0・1・2 歳児は給食用エプロンを入れるポリ袋も用意してください。

13. 外用ズック (2・3・4・5 歳児)

- 外用専用に常時保育所に置いて使用します。足にあった大きさのもので、履いたり脱いだりしやすいもののがいいです。わかりやすい場所に記名してください。
- 毎月、最終金曜日に持ち帰り洗っていただきます。

14. クッキング用エプロン・帽子又は三角巾 (3・4・5 歳児)

- クッキング活動の際に使用しますので、袋<図3と同型>に入れてご用意ください。
- マジックテープ・ゴムなどを利用して、お子さんが自分で着脱できるものにしておきましょう。

15. 体ふきタオル(フェイスタオル) (全員)(夏場のみ)

- シャワーの後などに使いますので、記名をして連絡したら持ってきてください。

